

名古屋人気質に関する調査研究（Ⅲ）

松本義宏・岡本純・伊藤万知子・脇田弘久

目 次

はじめに

- 1 生活環境について
- 2 東京人気質に関する意見
- 3 自己診断結果
- 4 東京都民の「田舎者」意識について
- 5 東京都民の買い物スタイル

おわりに

付 調査票（単純集計結果付）

はじめに

われわれは、1997年に「名古屋人気質と購買行動」についての調査を行った。そして20年後の2017年に、同じ調査項目で調査を行い、名古屋人気質と購買行動を分析した。20年前とは標本抽出方法および調査方法が異なるため、名古屋人の意識の経年変化を分析することは難しいので、調査時点における名古屋人（愛知県民）気質についてまとめた。2018年には、名古屋人気質と購買行動の特徴を明らかにするために、大阪府民を対象に同様の調査を行った。

今回の調査（2019年）は、名古屋人気質と購買行動の研究の継続調査として、大阪府民に続き、東京都民を対象に行った。

調査設計の概要は、以下のとおりである。

1. 調査対象

東京都内在住の満20才以上～80才の男女個人とした。

2. 調査方法

インターネットによって調査を実施した。

3. 標本数と標本割り当て構成

標本数は520名。標本割り当てに関しては、男女はそれぞれ260名の均等割りとし、年齢構成については以下のようなものである。

年齢構成¹⁾

20才～24才	33名	6.3%
25才～29才	71	13.7
30才～34才	43	8.3
35才～39才	61	11.7
40才～44才	47	9.0
45才～49才	57	11.0
50才～54才	54	10.4
55才～59才	50	9.6
60才～	104	20.0
計	520	100.0

1) 本稿においては年齢構成を「20才～29才、30才～39才、40才～49才、50才～59才、60才～」の5段階構成にまとめて分析を行った。

男女構成		
男性	260名	50.0%
女性	260	50.0
計	520	100.0

職業構成		
公務員	15名	2.9%
経営者・役員	11	2.1
会社員（事務系）	98	18.8
会社員（技術系）	57	11.0
会社員（その他）	70	13.5
自営業	19	3.7
自由業	15	2.9
専業主婦（主夫）	95	18.3
パート・アルバイト	59	11.3
学生	18	3.5
その他	14	2.7
無職	49	9.4
計	520	100.0

居住地域
東京都エリアを、男女別に20才代、30才代、40才代、50才代、60才以上をそれぞれ均等割（52名）で10区分に割り当てた。

4. 回収数
回収数は、男女それぞれ260名に標本数が達し次第打ち切り、合計520名を回収した。

5. 調査時期
平成31年（2019年）2月に実施した。

6. 調査票と単純集計結果

本報告書の末尾に掲載した。

7. 今回は、東京都民の消費者特性と購買行動について分析し、名古屋人（愛知県民）との比較は行わない。次回に東京都民、大阪府民と比較し、名古屋人（愛知県民）との意識の比較を試みたい。

1. 生活環境について

1) 購入している新聞について

東京都民に、現在購読している新聞について尋ねたところ、年齢全体では読売新聞（18.7%）を購読している人が最も多く、以下、朝日新聞（13.1%）、日経新聞（8.7%）毎日新聞（2.7%）産経新聞（2.7%）と続く。また、東京都民の半数以上が新聞を購読していない（57.5%）と答えており、大阪人（50.6%）と比較しても購読していない人が多い。

購読している新聞と年齢間では、「朝日新聞を購読している」、「読売新聞を購読している」60才以上と他の年代（20才～59才）で有意差が認められた²⁾。「朝日新聞を購読している」都民では50才～59才と30才～39才、40才～49才でも有意差が認められた。また、「購読していない」60才以上と他の年代（20才～59才）や20才～29才と50才～59才でも有意差が認められた。

(1) 購読している新聞と年齢

① 読売新聞の購読者

60才以上	30.8%	← *	→20才～29才	13.5%
同上		← **	→30才～39才	16.3%
同上		← **	→40才～49才	18.3%
同上		← *	→50才～59才	14.4%

② 朝日新聞の購読者

60才以上	26.9%	← *	→20才～29才	11.5%
同上		← *	→30才～39才	5.8%
同上		← *	→40才～49才	5.8%
同上		← **	→50才～59才	15.4%
50才～59才	15.4%	← **	→30才～39才	5.8%

③ 購読していない

20才～29才	68.3%	← **	→50才～59才	54.8%
同上		← *	→60才以上	30.8%
30才～39才	67.3%	← *	→ 同上	
40才～49才	66.3%	← *	→ 同上	
50才～59才	54.8%	← *	→ 同上	

2) 矢印(←)と矢印(→)の間に表示した**印は1%有意水準で、*印は5%有意水準で有意差が認められた場合を示す。

(2) 購読している新聞と性別

購読している新聞と性別では、「購読していない」男女間で有意差が認められた。

女性 61.9% ← ** → 購読していない 57.5%

(3) 購読している新聞と職業

購読している新聞と職業では、「日経新聞を購読している」会社員（事務系）と会社員（その他）、会社員（事務系）と専業主婦（主夫）、また「購読していない」会社員（事務系、技術系、その他）と無職の間で有意差が認められた。

① 日経新聞の購読者

会社員（事務系） 17.3% ← * → 会社員（その他） 4.3%

同上 ← ** → 専業主婦（主夫） 7.4%

② 購読していない

会社員（事務系） 60.2% ← ** → 無職 40.8%

会社員（技術系） 66.7% ← ** → 同上

会社員（その他） 68.6% ← ** → 同上

次に東京都外に住んだことがある人の中で、東京に住んでいる年数と購読している新聞を尋ねたところ「朝日新聞」、「読売新聞」、「購読していない」と「居住年数」の間で有意差が認められた。居住年数が高いほど「朝日新聞」、「読売新聞」を購読している人が多くなり、「購読していない」においても「居住年数」が長くなるほど新聞購読者が多くなるのがわかる。

① 朝日新聞

～9年 6.3% ← ** → 30年～ 21.0%

10～29年 11.5% ← * → 同上

② 読売新聞

～9年 8.8% ← ** → 30年～ 25.2%

10～29年 10.1% ← ** → 同上

③ 購読していない

～9年 76.3% ← ** → 30年～ 40.3%

10～29年 68.3% ← ** → 同上

2) 居住環境

居住歴「生まれてから今日まで東京に住んでいる」、「東京に住んでいるが、都外以外にも住んだ

ことがある」や所有形態、あるいは居住の満足度（今住んでいる市町村に、このまま住み続けたいですか。）について年齢、職業、所有形態、居住期間別に尋ねたところ、それぞれ有意差が認められた。

(1) 居住歴と年齢

① 「生まれてから今日まで東京に住んでいる」

50才～59才 42.3% ← ** → 60才以上 28.8%

② 「東京に住んでいるが、都外にも住んだことがある」

60才以上 71.2% ← ** → 50才～59才 57.7%

(2) 居住歴と職業

① 「生まれてから今日まで東京に住んでいる」

専業主婦（主夫） 40.0% ← ** → 会社員（事務系） 23.5%

パート・アルバイト 39.0% ← ** → 同上

② 「東京に住んでいるが、都外にも住んだことがある」

会社員（事務系） 76.5% ← ** → 専業主婦（主夫） 60.0%

同上 ← ** → パート・アルバイト 61.0%

(2) 家の所有形態

「家の所有形態について」意見を尋ねたところ年齢別では「絶対持ち家が良い」、「どちらでも良い」で有意差が認められた。また、居住年数で同様の意見を尋ねたところ「10年～29年」と「30年～」で有意差が認められた。さらに職業別では、「絶対持ち家がよい」、「持ち家がよい」、「借家がよい」で有意差が認められた。

① 年齢

「絶対持ち家がよい」

60才以上 33.7% ← * → 20才～29才 19.2%

同上 ← * → 30才～39才 20.2%

「どちらでもよい」

20才～29才 36.5% ← ** → 60才以上 15.4%

30才～39才 38.5% ← ** → 同上

40才～49才 26.9% ← * → 同上

50才～59才 28.8% ← * → 同上

やはり高齢者は若年層と比較して持ち家を持ちたいという人が多いことがわかる。

② 職業

「絶対持ち家がよい」

会社員 (技術系)	31.6%← *	→会社員 (事務系)	17.3%
-----------	----------	------------	-------

専業主婦 (主夫)	32.6%← *	→ 同上	
-----------	----------	------	--

「持ち家がよい」

会社員 (事務系)	44.9%← *	→パート・アルバイト	28.8%
-----------	----------	------------	-------

「借家がよい」

会社員 (事務系)	8.2%← *	→専業主婦 (主夫)	1.1%
-----------	---------	------------	------

会社員 (その他)	11.4%← **	→ 同上	1.1%
-----------	-----------	------	------

パート・アルバイト	11.9%← **	→ 同上	1.1%
-----------	-----------	------	------

無職	8.2%← *	→ 同上	1.1%
----	---------	------	------

(3) 居住の満足度

今住んでいる市町村にこのまま住みたいですかという質問に対して、「この市町村にそのまま住みたい」、「転居したい」、「成り行き次第でわからない」では年齢、職業で有意差が認められた。

① 年齢

「この市町村に住みたい」

50才～59才	53.8%← **	→20才～29才	35.6%
---------	-----------	----------	-------

60才以上	69.2%← **	→ 同上	
-------	-----------	------	--

同上	← **	→30才～39才	47.1%
----	------	----------	-------

同上	← **	→40才～49才	44.2%
----	------	----------	-------

同上	← *	→50才～59才	53.8%
----	-----	----------	-------

「転居したい」

20才～29才	20.2%← *	→40才～49才	9.6%
---------	----------	----------	------

同上	← **	→50才～59才	6.7%
----	------	----------	------

同上	← **	→60才以上	2.9%
----	------	--------	------

30才～39才	13.5%← *	→ 同上	
---------	----------	------	--

40才～49才	9.6%← *	→ 同上	
---------	---------	------	--

「成り行き次第でわからない」

20才～29才	44.2%← *	→60才以上	27.9%
---------	----------	--------	-------

40才～49才	46.2%← **	→ 同上	
---------	-----------	------	--

② 職業

「転居したい」

会社員 (事務系)	17.3%← *	→会社員 (技術系)	5.3%
-----------	----------	------------	------

同上	← *	→専業主婦 (主夫)	6.3%
----	-----	------------	------

同上	← *	→無職	4.1%
----	-----	-----	------

このような結果から、年代別では、高齢者層は引越など居住地の移動は望んでおらず若年層は「転居したい」人や「成り行き次第で分からない」と考える人が多いことが理解できよう。職業別では、会社員 (事務系) の人が会社員 (技術系)、専業主婦 (主夫)、無職と比較して「転居したい」と考えている人が多いことがわかる。

2. 東京人気質に関する意見

1) 東京人の気質についての意見に対する評価

(1) 20項目の全体結果の概要

東京人気質についての意見を20項目挙げて5段階評価で尋ねた。なお、「全くそう思う」と「そう思う」を合算して「そう思う」、「どちらでもない」、「全くそう思わない」と「そう思わない」を合算して「そう思わない」、「わからない」の4段階評価で再集計した。20項目の全体結果の概要は以下ようになった。

① 「東京の人は「安物買いの銭失い」である」

「そう思わない」の否定的評価が半数以上 (55.4%) を占める。

② 「東京の人は大金を投じるような賭け事はしない」

「そう思わない」の否定的評価が約半数 (43.9%) を占める。

③ 「東京の人は何か特別な日に出費を惜しまない」

回答の割合が分散しており傾向が不明瞭であったが、「そう思う」の肯定的評価が約3割 (33.5%) を占め、否定的評価 (20.4%) よりも高かった。

④ 「東京の人は持ち家志向が強い方だ」

「そう思わない」の否定的評価が約4割 (42.1%) を占める。

⑤ 「東京の人は目立ちたがり屋が多い」

「そう思わない」の否定的評価が約4割 (37.8%) を占める。

⑥ 「東京の人は大阪の人に劣等感を持っている」

「そう思わない」の否定的評価が7割以上 (72.3%) を占める。

⑦ 「東京の人は名古屋の人に劣等感を持っている」

「そう思わない」の否定的評価が7割以上 (73.9%) を占める。

- を占める。
- ⑧「東京の人は東京に対して不満を持っている」
回答の割合が分散しており傾向が不明瞭であったが、「そう思わない」の否定的評価が約4割（37.4%）を占め、肯定的評価（20.2%）よりも高かった。
- ⑨「東京の人は国や県の決めた事には反対しない」
「そう思わない」の否定的評価が約半数（48.3%）を占める。
- ⑩「東京の人はよそ者（東京人以外の人）と親しくなるのに時間がかかる」
「そう思わない」の否定的評価が4割以上（45.2%）を占める。
- ⑪「東京の人はよそ者よりも東京人同志の方が心が許せる」
「そう思わない」の否定的評価が約4割（39.0%）を占める。
- ⑫「東京の人は人前で自分の本心を表面に出さない」
回答の割合が分散しており傾向が不明瞭であった。
- ⑬「東京の人は同志の結束は固いと思う」
「そう思わない」の否定的評価が4割以上（47.5%）を占め、肯定的評価（8.8%）よりも高かった。
- ⑭「東京の人は古いしきたりにこだわる」
「そう思わない」の否定的評価が半数以上（52.1%）を占める。
- ⑮「東京の人は相手の出身地をすぐに尋ねることが多い」
「そう思わない」の否定的評価が4割（40.0%）を占める。
- ⑯「東京の人は値段が高くても品質が良ければ購入する」
「そう思う」の肯定的評価が約4割（39.4%）を占める。
- ⑰「東京の人はお茶やお花を習ったり、芸術を鑑賞したりする人が多い」

図表2-1 東京人気質に関する肯定的評価

（%）

	全くそう思う +そう思う
東京の人は贈り物をするときに、デパートをよく利用する	41.3
東京の人は値段が高くても品質が良ければ購入する	39.4
東京の人は何か特別な日に出費を惜しまない	33.5
東京の人は人前で自分の本心を表面に出さない	29.2
東京の人は生活に十分なゆとりがなくても芸術・スポーツ・趣味などに関心が高い	27.5
東京の人はお茶やお花を習ったり、芸術を鑑賞したりする人が多い	23.5
東京の人は相手の出身地をすぐに尋ねることが多い	22.7
東京の人は目立ちたがり屋が多い	21.3
東京の人は東京に対して不満を持っている	20.2
東京の人はよそ者（東京の人以外の人）と親しくなるのに時間がかかる	15.2
東京の人はよそ者よりも東京の人同志の方が心が許せる	14.8
東京の人は持ち家志向が強い方だ	14.4
東京の人は国や都の決めた事には反対しない	10.4
東京の人は同志の結束は固いと思う	8.8
東京の人は古いしきたりにこだわる	8.4
東京の人は大金を投じるような賭け事はしない	7.5
東京の人は「安物買いの銭失い」である	5.6
東京の人は大阪の人に劣等感を持っている	4.2
東京の人は名古屋の人に劣等感を持っている	2.7

回答の割合が分散しており傾向が不明瞭であったが、「どちらでもない」の比率が最も高い(38.3%)。

- ⑱「東京の人は生活に十分なゆとりがなくても芸術・スポーツ・趣味などに関心が高い」
回答の割合が分散しており傾向が不明瞭であったが、「どちらでもない」の比率が最も高い(36.3%)。

- ⑲「東京の人は贈り物をするときに、デパートをよく利用する」
肯定的評価が最も高い(41.3%)が、「どちらでもない」の比率も高い(31.0%)。

(2) 肯定的評価

東京人気質についての意見に対して肯定的な意見を値の高い順に並び替えると以下ようになった。最も値が高い項目は、「東京の人は贈り物をするときに、デパートをよく利用する」(41.3%)、

「東京の人は値段が高くても品質が良ければ購入する」(39.4%)、続いて「東京の人は何か特別な日に出費を惜しまない」(33.5%)となった。

これらの結果をみると、上位の項目には購買行動に関する項目が多く、東京都民の見栄を張る一面が推測される。

(3) 否定的評価

東京人気質についての意見に対して否定的な意見を値の高い順に並び替えると以下ようになった。最も値が高い項目は、「東京の人は名古屋の人に劣等感を持っている」(73.9%)、次に「東京の人は大阪の人に劣等感を持っている」(72.3%)、続いて「東京の人は「安物買いの銭失い」である」(55.4%)となった。

上位の2項目の東京都民以外の地域住民への意見(劣等感)と、第3位(購買行動)の項目との間に大きな差がみられた。これらの結果をみると、東

図表2-2 東京人気質に関する否定的評価

(%)

	全くそう思わない +そう思わない
東京の人は名古屋の人に劣等感を持っている	73.9
東京の人は大阪の人に劣等感を持っている	72.3
東京の人は「安物買いの銭失い」である	55.4
東京の人は古いしきたりにこだわる	52.1
東京の人は国や都の決めた事には反対しない	48.3
東京の人は同志の結束は固いと思う	47.5
東京の人はよそ者(東京の人以外の人)と親しくなるのに時間がかかる	45.2
東京の人は大金を投じるような賭け事はしない	43.9
東京の人は持ち家志向が強い方だ	42.1
東京の人は相手の出身地をすぐに尋ねることが多い	40.0
東京の人はよそ者よりも東京の人同志の方が心が許せる	39.0
東京の人は目立ちたがり屋が多い	37.8
東京の人は東京に対して不満を持っている	37.4
東京の人は人前で自分の本心を表面に出さない	28.3
東京の人はお茶やお花を習ったり、芸術を鑑賞したりする人が多い	27.9
東京の人は生活に十分なゆとりがなくても芸術・スポーツ・趣味などに関心が高い	24.8
東京の人は贈り物をするときに、デパートをよく利用する	20.6
東京の人は何か特別な日に出費を惜しまない	20.4
東京の人は値段が高くても品質が良ければ購入する	16.6

京都民は他地域の住民に対して劣っているとは思っていないという意見が多いことがはっきり結果となって現れた。

2) 東京人気質に関する階層間分析

以下では、東京都民についてのいろいろな意見について、階層間の有意差の有無の観点から考察する。階層間の有意差検定は、性別、年齢別、居住年数別で行った。全般的には、有意差の認められる項目が最も多かったのは年齢別で47項目、居住年数別は22項目、性別は14項目という結果となった。

そこで、20の質問項目に対する肯定的評価と否定的評価の差に着目した。「全くそう思う」と「そう思う」を合算して「そう思う」の肯定的評価の差が大きい上位3項目、「全くそう思わない」と「そう思わない」を合算して「そう思わない」の否定的評価の差が大きい上位3項目について有意差検定を行った。

(1) 肯定的評価と否定的評価との差が高い項目

① 「東京の人は値段が高くても品質が良ければ購入する」

この項目では性別による有意差が認められた。「そう思う」

女性 21.2% ← ** → 男性 16.5%

「そう思う」の割合が男性に対して女性は約5ポイント高い。この項目での年齢別、居住年数別による有意差は認められず、商品・サービスに対す

る価格と品質の捉え方は性別による違いがみられた。

② 「東京の人は贈り物をするときに、デパートをよく利用する」

この項目では性別による有意差が認められた。

「そう思う」

女性 49.2% ← ** → 男性 33.5%

「そう思わない」

男性 25.8% ← ** → 女性 15.4%

「そう思う」の割合が男性に対して女性は約50%と高い比率となっている。

さらに、年齢別においても有意差が認められた。

「そう思う」

20才～29才 52.9% ← * → 40才～49才 37.5%

同上 ← * → 50才～59才 35.6%

同上 ← * → 60才～ 38.5%

本調査における20才～29才の若年層と40才以上の中年層以上との間に約15%以上の差が認められた。若年層は中年層以上に対して東京人は特別な贈り物をするという普段と異なる購買ではデパートを利用するという意見を持っていることがわかった。

また、居住年数においても有意差が認められた。

「そう思う」

～9年 53.8% ← * → 30年～ 32.8%

「そう思う」の項目では、居住年数が9年以下と30年以上との間に約20ポイントの差があった。居住年数が短いほど肯定的な意見が高くなる結果となった。

図表2-3 東京人気質に関する肯定的評価と否定的評価の差

(%)

	そう思う	そう思わない	差
東京の人は値段が高くても品質が良ければ購入する	39.4	16.6	22.8
東京の人は贈り物をするときに、デパートをよく利用する	41.3	20.6	20.7
東京の人は何か特別な日に出費を惜しまない	33.5	13.1	13.1
東京の人は名古屋の人に劣等感を持っている	2.7	73.9	-71.2
東京の人は大阪の人に劣等感を持っている	4.2	72.3	-68.1
東京の人は「安物買いの銭失い」である	5.6	55.4	-49.8

③「東京の人は何か特別な日に出費を惜しまない」
この項目では性別による有意差が認められた。
「そう思う」
女性 40.8%←**→男性 26.2%
「そう思わない」
男性 25.8%←**→女性 15.0%
「そう思う」の割合が男性(26.2%)に対して女性が約40%と高い比率となっている。

さらに、年齢別においても有意差が認められた。
「そう思う」
20才～29才 45.2%←*→40才～49才 29.8%
同上 ←*→50才～59才 28.8%
同上 ←*→60才～ 28.8%

本調査における20才～29才の若年層と40才以上の中年層以上との間に約16%以上の差が認められた。年齢が上がるほど特別な出費は惜しまないという意見に対して否定的な意見を持つ傾向にあることがわかる。居住年数別では有意差が認められなかった。

(2) 否定的評価と肯定的評価との差が高い項目

①「東京の人は名古屋の人に劣等感を持っている」
この項目での性別による有意差は認められず、回答にばらつきがみられた。

続いて、年齢別において有意差が認められた。
「そう思わない」
30才～39才 76.9%←*→20才～29才 62.5%
50才～59才 77.9%←*→ 同上
60才以上 80.8%←*→ 同上

年齢が上がるほど名古屋の人に対して劣等感を持っているとは思わないとの意見が多い傾向となった。

次に、居住年数別に置いて有意差が認められた。
「そう思わない」

10年～29年 77.7%←*→～9年 65.0%
各居住年数別で「そう思わない」が約60%以上と高い比率となっている。

②「東京の人は大阪の人に劣等感を持っている」
この項目での性別による有意差は認められなかった。男女とも「そう思わない」が約70%以上と高い比率となっている。

続いて、年齢別において有意差が認められた。
「そう思わない」
50才～59才 78.8%←*→20才～29才 63.5%
60才以上 79.8%←**→ 同上
30才以上の年齢層と20才～29才の年齢層との間に大きな差がみられ、とりわけ60才以上の年齢層間には約18ポイント差があった。

次に、居住年数別においても有意差が認められた。
「そう思う」
～9年 10.0%←*→10年～29年 2.9%
同上 ←**→30年～ 1.7%
各居住年数別で「そう思わない」が70%以上と高い比率となっている。

③「東京の人は「安物買いの銭失い」である」

この項目での性別による有意差は認められなかった。男女とも「そう思わない」が50%以上と高い比率となっている。

続いて、年齢別において有意差が認められた。
「そう思う」
20才～29才 9.6%←**→60才以上 2.9%
「そう思わない」

50才～59才 60.6%←*→20才～29才 44.2%
60才以上 59.5%←*→ 同上

次に、居住年数別においては有意差が認められなかった。「そう思わない」が50%以上と高い比率となっている。

3) 東京人気質に関する因子分析

さらに、東京人気質に関する20問から因子分析を行うと以下の5つの因子が抽出された。第1因子は「東京の人はお茶やお花を習ったり、芸術を鑑賞したりする人が多い」、「東京の人は生活に十分なゆとりがなくても芸術・スポーツ・趣味などに関心が高い」、「東京の人は値段が高くても品質が良ければ購入する」、「東京の人は贈り物をするときに、デパートをよく利用する」の4項目から生活の質の向上や人間関係の構築に関わる支出に対しては、積極的にお金を出すという意見であった。

第2因子は、「東京の人はよそ者と親しくなるのに時間がかかる」、「東京の人は人前で自分の本心

を表面に出さない」、「東京の人はよそ者よりも東京の人同志の方が心が許せる」、「東京の人は東京に対して不満を持っている」、「東京の人は国や都の決めた事には反対しない」、「東京の人は相手の出身地をすぐに尋ねることが多い」の6項目から他人との関係を構築する際に時間が掛かり、上位の組織や人間には逆らわない態度がみられた。

第3因子は「東京の人は大金を投じるような賭け事はしない」、「東京の人は「安物買いの銭失い」である」、「東京の人は何か特別な日に出費を惜しまない」、「東京の人は目立ちたがり屋が多い」の4項目から、日常的な購買については支出を抑え、一方で冠婚葬祭などの出費は惜しまないという態度が窺える。

第4因子は「東京の人は大阪の人に劣等感を持っている」、「東京の人は名古屋の人に劣等感を持って

いる」の2項目から東京の人は大阪、名古屋に対しては優位的な立場にあるという感覚が垣間みられる。

第5因子は「東京の人は古いしきたりにこだわる」、「東京の人同志の結束は固いと思う」、「東京の人は持ち家志向が強い方だ」の3項目から仲間同士のつながりを重視する態度がみられた。これら5つの因子から、東京都民が持つ気質の特性が読み取れる。

図表2-4 東京人気質の因子分類

第1因子：生活向上
第2因子：閉鎖性
第3因子：儉約家
第4因子：東京優位
第5因子：保守性

図表2-5 東京人気質の因子分析結果

	生活向上	閉鎖性	儉約家	東京優位	保守性
東京の人はお茶やお花を習ったり、芸術を鑑賞したりする人が多い	.800	.141	.168	.129	.150
東京の人は生活に十分なゆとりがなくても芸術・スポーツ・趣味などに関心が高い	.800	.100	.194	.143	.216
東京の人は値段が高くて品質が良ければ購入する	.776	.258	.147	-.008	.131
東京の人は贈り物をするとき、デパートをよく利用する	.726	.231	.092	-.003	.193
東京の人はよそ者（東京の人以外の人）と親しくなるのに時間がかかる	.137	.810	.143	.176	.151
東京の人は人前で自分の本心を表面に出さない	.394	.647	.198	-.010	.129
東京の人はよそ者よりも東京の人同志の方が心が許せる	.242	.647	.320	.124	.240
東京の人は東京に対して不満を持っている	.061	.502	.063	.373	.137
東京の人は国や都の決めた事には反対しない	.224	.471	.215	.255	.217
東京の人は相手の出身地をすぐに尋ねることが多い	.310	.420	.083	.146	.382
東京の人は大金を投じるような賭け事はしない	.124	.200	.735	.156	.211
東京の人は「安物買いの銭失い」である	.118	.066	.733	.288	.127
東京の人は何か特別な日に出費を惜しまない	.472	.332	.590	-.012	.019
東京の人は目立ちたがり屋が多い	.283	.401	.488	.065	.177
東京の人は大阪の人に劣等感を持っている	.068	.173	.175	.895	.171
東京の人は名古屋の人に劣等感を持っている	.062	.202	.227	.867	.151
東京の人は古いしきたりにこだわる	.210	.205	.156	.193	.816
東京の人は同志の結束は固いと思う	.281	.249	.213	.139	.725
東京の人は持ち家志向が強い方だ	.197	.235	.443	.173	.466

3. 自己診断結果

アンケートでは自己の気質について48の質問項目を用意し5段階評価で尋ねた(Q8・Q9)。その結果を、「全くその通り」と「ほぼその通り」を合

算して「その通り」、「どちらでもない」、「全く違う」と「やや違う」を合算して「違う」の3段階にまとめ肯定的な回答割合の多い順に示したものが図表3-1である。

図表3-1 自己診断結果から読み取れること(肯定の回答の多い順)

(%)

	回答(3段階)			階層別有意差			
	その通り	どちらでもない	違う	性別	年齢	職業	居住歴
借金の申し入れは断る方だ	67.7	25.0	7.3	**	**	*	
欲しい物があってもすぐに買わず、考えてから買う方だ	61.5	27.1	11.3		**	**	
相手が困っているときには親身になって相談に乗る方だ	55.8	35.4	8.8	**	**	**	*
何か特別な日には出費を惜しまない	51.9	31.5	16.5	**	**	**	*
仕事には熱中する方だ	48.7	33.8	17.5		**	*	
100円や200円程度の貸しは、催促しない	46.9	26.9	26.2	**		*	**
預金をする場合には元金が保証されているものにする	46.9	38.1	15.0	**	**	**	
自分を売り込む人は好まない	46.9	39.6	13.5		**	*	
親戚や知り合いの店に買い物に行った際には、何かひとつは買って帰る	40.6	39.0	20.4	**	*	*	
本音をなかなか言わない	40.2	38.7	21.2	**	**	**	**
何軒も店を回って品物を見比べてから買う方だ	40.0	34.2	25.8	**	*	*	**
新製品は先に買った人の意見を聞いてから買う	39.6	40.0	20.4	*	*	*	**
自分の意見を持っているが自分は主張しない	39.6	36.0	24.4	**	*	*	
食費には、お金をかける方だ	36.9	31.3	31.7	**	**	*	*
期日がせまらないと行動を起こさない	36.0	33.8	30.2	**	**	**	**
自分が他人にどう思われているか気になる	35.2	37.5	27.3		**	**	**
仕事をする以上、多少の私生活の犠牲は仕方がない	33.7	38.8	27.5	*	**	**	*
買い物はクレジットカードよりも現金で買う方が多い	31.7	25.6	42.7	*	**	*	**
趣味を持つなら、生活に役立つものを選ぶ方だ	28.7	40.6	30.8		**	*	**
芸術の鑑賞や制作にお金を使うことは惜しくない	27.5	37.5	35.0	**	*	**	**
神仏を信じる	27.1	37.7	35.2	**	**	*	
人におごる方だ	26.9	44.0	29.0	*	*	**	*
お中元やお歳暮はご縁がある限り贈り続ける	26.0	32.3	41.7		**	**	*
親戚や知り合いの店で買い物は避ける	25.8	50.8	23.5		**	*	**
ムダ使いをしない方だ	25.6	29.6	44.8		**	*	*
新聞やテレビの情報は信用する	25.4	44.6	30.0	*	**	*	*
他人の意見に同調することが多い	23.5	45.6	31.0	**	**	*	**
朝、喫茶店を選ぶときは、モーニングサービスの内容を重視する	21.9	38.3	39.8	*	*		*
ブランドにはこだわる方だ	21.0	29.2	49.8	*	*	**	*
最後まで自分の意見を主張する	20.8	49.8	29.4	**	*	**	**
他人と同じ行動を取りがちである	19.4	42.3	38.3	*	**	**	**
スポーツをしたり、観戦することにお金を使う方である	19.4	29.8	50.8	**	**	**	**
専門書や小説等よりも実用書をよく読む方だ	17.9	38.1	44.0			*	
悩みがあると占いに頼りたくなる	14.2	26.2	59.6	**	**	**	*
初対面の人とでも腹を割って話すことができる	14.0	39.6	46.3		**	**	*
割り勘の時は必ず1円単位まで計算する	12.9	22.9	64.2	*	**	*	*
贈り物は中味より外見を重視する	12.9	36.0	51.2		**	**	**
古い友人からの借金の申し入れには応ずる	11.7	31.0	57.3	**	*	*	
地域活動や自治会活動に参加する	11.5	30.4	58.1		**	**	
みずから進んでリーダーになる方だ	11.0	27.5	61.5	**	**	**	**
流行品は人より早く持ちたい	10.4	26.5	63.1		**	*	**
結婚式・披露宴は豪華な方がいい	10.0	31.7	58.3		**	*	**
新聞の折り込み広告は隅から隅まで目を通す	9.0	29.4	61.5	**			*
お金の貸し借りをすることは気にならない	8.5	19.0	72.5	**	**	**	**
買い物をする時は値切る	8.3	23.5	68.3	**		**	
可能な限り、保険は多くの種類に加入する方がよい	7.1	35.6	57.3		*	*	
100円や200円程度の借りは、返さない	6.5	15.0	78.5	**	**	**	
開店祝いの花を持ち帰る	6.3	28.3	65.4		**		*

注：**は1%有意水準で、*は5%有意水準でそれぞれの階層別に有意差が認められたことを示している。

(1) 肯定的評価

「その通り」のと回答した割合の高いものとして、50%を超えた項目をあげると「借金の申し入れは断る方だ」（67.7%）、「欲しい物があってもすぐに買わず、考えてから買う方だ」（61.5%）、「相手が困っているときには親身になって相談に乗る方だ」（55.8%）、「何か特別な日には出費を惜しまない」（51.9%）となっている（図表3-1）。

(2) 否定的評価

図表3-2は、これらの質問に関し「違う」と回答した割合の多い順に並び替え上位20項目を示したものである。

「違う」と回答した割合の多いものには、「100円や200円程度の借りは、返さない」（78.5%）、「お金の貸し借りをすることは気にならない」（72.5%）、「買物をする時は値切る」（68.3%）「開店祝いの花を持ち帰る」（65.4%）、「割り勘の時は必ず1円単位まで計算する」（64.2%）、「流行品は人より早く持ちたい」（63.1%）「みずから進んでリーダーになる方だ」（61.5%）、「新聞の折り込み広告は隅から隅まで目を通す」（61.5%）があり、これらは「違う」

とする割合が6割を超えている（図表3-2）。

(3) 東京都民の自己の気質に関する階層間分析

次に、東京都民の自己の気質に関する48項目の質問について、階層間で有意差の見られたものなかで特徴的な項目について考察する。階層間の有意差検定は、性別、年齢別、職業別、居住年数別で行った。有意差の認められる項目が多かったのは職業別で45項目、年齢別で43項目である。性別は32項目、居住年数別は33項目という結果となった（図表3-1）。

つづいて、48の質問項目に対する肯定的評価と否定的評価の差に着目し「全くそう思う」と「そう思う」を合算して「そう思う」の肯定的評価の差が大きい上位5項目、「全くそう思わない」と「そう思わない」を合算して「そう思わない」の否定的評価の差が大きい上位5項目について有意差検定の結果を考察した。その考察に関しては、1%の有意水準で差がみられた階層のみを取り上げ以下に記述する。

①「借金の申し入れは断る方だ」

この項目では性別、年齢別で1%の有意差が認

図表3-2 自己診断結果から読み取れること（否定の回答の多い順 上位20項目）

（%）

	その通り	どちらでもない	違う
100円や200円程度の借りは、返さない	6.5	15.0	78.5
お金の貸し借りをすることは気にならない	8.5	19.0	72.5
買物をする時は値切る	8.3	23.5	68.3
開店祝いの花を持ち帰る	6.3	28.3	65.4
割り勘の時は必ず1円単位まで計算する	12.9	22.9	64.2
流行品は人より早く持ちたい	10.4	26.5	63.1
みずから進んでリーダーになる方だ	11.0	27.5	61.5
新聞の折り込み広告は隅から隅まで目を通す	9.0	29.4	61.5
悩みがあると占いに頼りたくなる	14.2	26.2	59.6
結婚式・披露宴は豪華な方がいい	10.0	31.7	58.3
地域活動や自治会活動に参加する	11.5	30.4	58.1
可能な限り、保険は多くの種類に加入する方がよい	7.1	35.6	57.3
しかし、古い友人からの借金の申し入れには応ずる	11.7	31.0	57.3
贈り物は中味より外見を重視する	12.9	36.0	51.2
スポーツをしたり、観戦することにお金を使う方である	19.4	29.8	50.8
ブランドにはこだわる方だ	21.0	29.2	49.8
初対面の人とでも腹を割って話すことができる	14.0	39.6	46.3
ムダ使いをする方だ	25.6	29.6	44.8
専門書や小説等よりも実用書をよく読む方だ	17.9	38.1	44.0
買物物はクレジットカードよりも現金で買う方が多い	31.7	25.6	42.7

図表3-3 自己の気質に関する質問に対して（肯定的評価と否定的評価の差）

（%）

	そう思う	そう思わない	差
借金の申し入れは断る方だ	67.7	7.3	60.4
欲しい物があってもすぐには買わず、考えてから買う方だ	61.5	11.3	50.2
相手が困っているときには親身になって相談に乗る方だ	55.8	8.8	47.0
何か特別な日には出費を惜しまない	51.9	16.5	35.4
自分を売り込む人は好まない	46.9	13.5	33.4
100円や200円程度の借りは、返さない	6.5	78.5	-72.0
お金の貸し借りをすることは気にならない	8.5	72.5	-64.0
買い物をする時は値切る	8.3	68.3	-60.0
開店祝いのお花を持ち帰る	6.3	65.4	-59.1
流行品は人より早く持ちたい	10.4	63.1	-52.7

められた。性別からみると

「その通り」

女性 75.8%←**→男性 59.6%

「どちらでもない」

男性 31.9%←**→女性 18.1%

女性の約7割、男性の約6割が「その通り」と回答し他の項目と比較して高い割合となっている。

「その通り」と回答する割合は女性の方が男性より1割ほど高くなっている。「どちらでもない」とした割合は、男性の約3分の1で、女性より1割ほど高くなっている。

次に年齢別でみると

「その通り」

40才～49才 77.9%←**→60才以上 55.7%

同上 ←*→20才～29才 64.4%

「どちらでもない」

60才以上 32.7%←*→40才～49才 20.2%

「違う」

20才～29才 10.6%←**→40才～49才 1.9%

60才以上 9.6%←*→ 同上

年齢別では、40才台ではその約4分の3が、他の年代でも約6～7割が「その通り」と回答している。

この質問に関しては職業別でも5%有意水準で差が認められた。

②「欲しい物があってもすぐには買わず、考えてから買う方だ」

本質問に関しては、年齢階層別において1%有意水準で差が認められた。

「その通り」

50才～59才 73.1%←**→30才～39才 52.9%

同上 ←**→60才以上 52.9%

「どちらでもない」

30才～39才 32.7%←*→50才～59才 20.2%

60才以上 32.7%←*→ 同上

50才台の約7割が「その通り」と回答し、30才台や60才以上の約50%と比べ2割ほど高い回答となった。

その他、この質問に関しては、職業別でも5%有意水準で差が認められた。

③「相手が困っているときには親身になって相談に乗る方だ」

性別、年齢、職業別階層において1%有意水準で差が認められた。

性別について見ると以下の結果となった

「その通り」

女性 63.8%←**→男性 47.7%

「どちらでもない」

男性 41.9%←**→女性 28.8%

性別では、「その通り」と回答した割合が、女性が男性より16%ほど高くなった。女性の約3分の2が、相手が困っているときには親身になって相談に乗る方だと回答しており、男性は約5割となっている。

次に、年齢別にみても

「その通り」

60才以上 71.2%←**→20才～29才 51.9%

同上 ←*→30才～39才 56.7%

同上 ←**→40才～49才 50.0%

同上 ←***→50才～59才 49.0%
 「どちらでもない」
 20才～29才 36.5%←*→60才以上 21.2%
 30才～39才 36.5%←*→ 同上
 40才～49才 42.3%←***→ 同上
 50才～59才 40.4%←***→ 同上
 60才以上の年代が他の20～50才台より約15%～20%ほど「その通り」と回答する割合が高く、他の年代は「どちらでもない」と回答する割合が高くなっている。

また、職業別に関しては以下の通りとなった。
 「その通り」
 会社員（事務系） 58.2%←***→パート・アルバイト 35.6%
 会社員（技術系） 54.4%←*→ 同上
 会社員（その他） 58.6%←***→ 同上
 専業主婦（主夫） 67.4%←***→ 同上
 無職 65.3%←***→ 同上
 「どちらでもない」
 会社員（技術系） 45.6%←*→専業主婦（主夫） 26.3%
 同上 ←*→無職 22.4%
 パート・アルバイト 50.8%←*→会社員（事務系） 34.7%
 同上 ←*→会社員（その他） 30.0%
 同上 ←***→専業主婦（主夫） 26.3%
 同上 ←***→無職 22.4%

「違う」
 会社員（事務系） 7.1%←*→会社員（技術系） 0.0%
 会社員（その他） 11.4%←***→ 同上
 パート・アルバイト 13.6%←***→ 同上
 無職 12.2%←***→ 同上

本質問に肯定的な回答が会社員（事務系、技術系、その他）、専業主婦（主夫）、無職では6割ほどみられたが、パート・アルバイトで3割ほどとなっている。パート・アルバイトでは「どちらでもない」という回答が半数を占めている。

その他、この質問に関しては、居住歴別でも5%有意水準で差が認められた。

④「何か特別な日には出費を惜しまない」

性別、年齢、職業別階層において1%有意水準で差が認められた。

性別でみてみると

「その通り」
 女性 62.7%←***→男性 41.2%
 「どちらでもない」
 男性 37.7%←***→女性 25.4%
 「違う」
 男性 21.2%←***→女性 11.9%
 「その通り」と回答した割合は、男性が約4割に対して女性は約6割と高い比率となっている。「違う」と回答した割合は、男性が約2割に対して女性は約1割となった。

次に、年齢別では以下のようになった。
 「その通り」
 20才～29才 61.5%←***→50才～59才 41.3%
 同上 ←*→40才～49才 47.1%
 30才～39才 56.7%←*→50才～59才 41.3%
 「違う」
 50才～59才 26.0%←***→60才以上 10.6%
 同上 ←*→20才～29才 13.5%
 同上 ←*→30才～39才 14.4%

20才台が特別な日には出費を惜しまないとする回答が、40～50才台と比較して高くなっている。また、「違う」との回答は、50才台が20～30才台、60才以上より1割ほど高くなった。

また、職業別に関しては次のような結果となった。

「その通り」
 専業主婦（主夫） 62.1%←***→会社員（技術系） 36.8%
 同上 ←*→パート・アルバイト 45.8%
 会社員（事務系） 58.2%←*→会社員（技術系） 36.8%
 「どちらでもない」
 会社員（技術系） 49.1%←***→会社員（事務系） 26.5%
 同上 ←*→会社員（その他） 30.0%
 同上 ←*→専業主婦（主夫） 30.5%
 同上 ←*→パート・アルバイト 27.1%
 同上 ←*→無職 28.6%

「違う」
 パート・アルバイト 27.1%←***→専業主婦（主夫） 7.4%
 会社員（その他） 20.0%←*→ 同上
 無職 20.4%←*→ 同上
 職業別では、本質問に肯定的な回答が専業主

婦（主夫）、会社員（事務系）で6割ほどみられたが、会社員（技術系）で約37%となっている。会社員（技術系）では「どちらでもない」という回答が半数を占め他の職業より高くなっている。「違う」という回答は、専業主婦（主夫）では7.4%で、パート・アルバイト、会社員（その他）、無職と比較して約1～2割低くなっている。

この質問に関しては、居住歴別でも5%有意水準で差が認められた。

⑤「自分を売り込む人は好まない」

この質問に対しては、年齢別において1%有意水準で差が認められた。

「その通り」

50才～59才 54.8% ← ** → 30才～39才 36.5%

「どちらでもない」

30才～39才 48.1% ← * → 20才～29才 34.6%

同上 ← * → 50才～59才 34.6%

「違う」

20才～29才 19.2% ← * → 40才～49才 9.6%

30才台が「その通り」と回答する割合が他の年代と比べ低く、特に50才台より2割、他の年代より1割ほど低くなっている。30才台は「どちらでもない」との回答が他の年代より高くなっている。また、「違う」との回答割合は、20才～30才台が他の年代より高くなっている。

この質問に関しては、職業別でも5%有意水準で差が認められた。

⑥「100円や200円程度の借りは、返さない」

本質問に対して性別、年齢、職業別階層において1%有意水準で差が認められた。

「どちらでもない」

男性 21.9% ← ** → 女性 8.1%

「違う」

女性 86.5% ← ** → 男性 70.4%

「違う」との回答する割合が女性の方が男性より16%ほど高く、「どちらでもない」とする割合が男性の方が高くなっている。

次に年齢別でみると

「その通り」

20才～29才 12.5% ← ** → 60才以上 2.9%

同上 ← * → 50才～59才 3.8%

「どちらでもない」

20才～29才 21.1% ← * → 50才～59才 10.6%

「違う」

50才～59才 85.6% ← ** → 20才～29才 66.3%

60才以上 85.6% ← ** → 同上

40才～49才 79.8% ← * → 同上

「その通り」と回答した割合が、20才台が他の年代より若干高くなっている。「違う」という割合は、40才～60才以上では約8割を占めるのに対して20才台では約66%となっている。

職業別に関しては次のような結果となった。

「その通り」

パート・アルバイト 10.2% ← ** → 専業主婦（主夫） 1.1%

会社員（事務系） 9.2% ← * → 同上

会社員（技術系） 8.8% ← * → 同上

会社員（その他） 8.6% ← * → 同上

「どちらでもない」

会社員（その他） 24.3% ← ** → 専業主婦（主夫） 7.4%

同上 ← * → 会社員（事務系） 12.2%

同上 ← * → 無職 8.2%

会社員（技術系） 19.3% ← * → 専業主婦（主夫） 7.4%

「違う」

専業主婦（主夫） 91.6% ← ** → 会社員（技術系） 71.9%

同上 ← ** → 会社員（その他） 67.1%

同上 ← ** → パート・アルバイト 74.6%

同上 ← * → 会社員（事務系） 78.6%

無職 85.7% ← * → 会社員（その他） 67.1%

「その通り」と回答した割合は専業主婦（主夫）が1.1%とかなり低い。パート・アルバイト、会社員（事務系、技術系、その他）と差が見られた。「違う」との回答した割合では、専業主婦（主夫）は約9割と高くなっており、会社員（事務系、技術系、その他）、パート・アルバイトとの比べ10数%～20%ほど高くなっている。専業主婦（主夫）は、100円や200円程度の借りも返すという考えが強いことが窺える。

⑦「お金の貸し借りをすることは気にならない」

本質問に関しては性別、年齢、職業、居住歴別階層において1%有意水準で差が認められた。

まず、性別に関しては次のようになった。

「その通り」

男性 12.7%←**→女性 4.2%

「どちらでもない」

男性 24.6%←**→女性 13.5%

「違う」

女性 82.3%←**→男性 62.7%

否定する回答割合は、男性で約6割、女性で約8割であった。男性より女性の方が20%ほど高くなっている。「その通り」「どちらでもない」との回答に関しては、女性より男性の方が1割ほど高くなっている。

次に、年齢別についてみると

「その通り」

20才～29才 20.2%←**→40才～49才 4.8%

同上 ←**→50才～59才 5.8%

同上 ←**→60才以上 1.9%

同上 ←*→30才～39才 9.6%

30才～39才 9.6%←*→60才以上 1.9%

「どちらでもない」

20才～29才 26.0%←*→60才以上 14.4%

「違う」

40才～49才 77.9%←**→20才～29才 53.8%

50才～59才 77.9%←**→ 同上

60才以上 83.7%←**→ 同上

30才～39才 69.2%←*→ 同上

60才以上 83.7%←*→30才～39才 69.2%

年齢別では40才台～60才以上の約8割が否定的な回答をしたのに対し20才台はその割合は約5割となっている。「気にならない」とする回答が、20才台では約2割を占め、その他の年代より約1～2割高くなっている。20才台では「どちらでもない」との回答がその年代の約4分の1を占めた。お金の貸し借りをすることについては、年齢が高いほど「気になる」との回答が多く、その割合が20才台は相対的に低くなっている。

次に、職業別に見てみたい。

「その通り」

会社員（事務系） 13.3%←*→専業主婦（主夫） 4.2%

同上 ←*→無職 2.0%

会社員（技術系） 12.3%←*→ 同上

「どちらでもない」

会社員（技術系） 28.1%←*→会社員（事務系） 14.3%

「違う」

専業主婦（主夫） 80.0%←**→会社員（技術系） 59.6%

同上 ←*→会社員（その他） 65.7%

パート・アルバイト 78.0%←*→会社員（技術系） 59.6%

無職 81.6%←*→ 同上

「気にならない」との質問に「違う」と回答した専業主婦（主夫）は8割となった。会社員（技術系、その他）では約6割で、2割ほどの差があった。

つづいて、東京都での居住歴別にみると

「その通り」

9年以下 17.5%←**→30年以上 2.5%

10年以上29年以下 8.6%←*→同上

「違う」

30年以上 79.8%←**→9年以下 62.5%

10年以上29年以下 78.4%←*→ 同上

「気にならない」との回答は、居住歴「30年以上」は2.5%にとどまり「9年以下」と比較して15%ほどの差が生じている。「違う」と回答した割合は「居住歴9年以下」が約6割で、他の居住歴の約8割と比較して相対的に低くなっている。

⑧「買い物をする時は値切る」

性別、職業別階層において1%有意水準で差が認められた。性別では、以下のような結果となった。

「その通り」

男性 11.2%←*→女性 5.4%

「どちらでもない」

男性 30.8%←**→女性 16.2%

「違う」

女性 78.5%←**→男性 58.1%

否定する回答の割合は、女性で約8割、男性で約6割であった。男性より女性の方が20%ほど高くなっている。「その通り」との回答では約6%、「どちらでもない」との回答では約15%、女性より男性の方が高くなっている。女性の方が「違う」とする割合が高い。

次に、職業別について見てみたい。

「その通り」			
会社員(事務系)	14.3%	←***→	専業主婦(主夫) 1.1%
同上		←*→	会社員(その他) 4.3%
会社員(技術系)	12.3%	←***→	専業主婦(主夫) 1.1%
パート・アルバイト	10.2%	←***→	同上
「どちらでもない」			
会社員(その他)	30.0%	←*→	パート・アルバイト 15.3%
「違う」			
専業主婦(主夫)	80.0%	←***→	会社員(事務系) 62.2%
同上		←***→	会社員(技術系) 59.6%
同上		←*→	会社員(その他) 65.7%

「違う」と回答した専業主婦(主夫)は8割となった。会社員(事務系、技術系、その他)では約6割で、2割ほどの差があった。専業主婦(主夫)では本質問に関し「その通り」とする割合がほとんどなかった。

⑨「開店祝いの花を持ち帰る」

年齢別階層において1%有意水準で差が認められた。

「その通り」			
20才～29才	8.7%	←***→	50才～59才 1.0%
30才～39才	10.6%	←***→	同上
40才～49才	6.7%	←*→	同上
「どちらでもない」			
20才～29才	34.6%	←*→	50才～59才 21.2%
「違う」			
50才～59才	77.9%	←***→	20才～29才 56.7%
同上		←*→	30才～39才 61.5%
同上		←*→	40才～49才 64.4%

この質問に対し50才台では約8割が否定しており、他の年代よりその割合が1～2割高くなっている。

⑩「流行品は人より早く持ちたい」

この質問に関しては、年齢別、居住歴別階層において1%有意水準で差が認められた。

まず、年齢別では以下のような結果となった。

「その通り」			
20才～29才	20.2%	←***→	50才～59才 5.8%
同上		←***→	60才以上 4.8%
同上		←*→	30才～39才 9.6%

「違う」
50才～59才 72.1%←***→20才～29才 54.8%
「流行品は人より早く持ちたい」との問いに肯定的な回答が多いのは20才台で2割ほどが「その通り」と答えている。50才～60才以上の割合(5～6%)や他の年代の割合と比較して高くなっている。20才台では「違う」と否定する割合は54.8%と半数を超えているが、50才台の約72.1%や他の年代と比べ相対的に低くなっている。

次に、東京都での居住歴別にみると

「その通り」			
9年以下	16.3%	←***→	30年以上 4.2%
10年以上29年以下	12.2%	←*→	同上

「その通り」との回答は、居住歴「9年以下」(16.3%)、「10年以上29年以下」(12.2%)、「30年以上」(4.2%)となり、居住歴が長いほど本質問に肯定的な回答割合が低くなっている。

さらに因子分析を行った結果、2つの設問それぞれに対して7つの因子が抽出された。因子負荷量の大きい項目に基づき、以下のように名付けた。

第1A因子は「流行品を人より早く持ちたい」、「贈り物は中身よりも外見を重視する」などの見栄っ張りな意見であった。第2A因子は「欲しい物があってもすぐには買わず、考えてから買う方だ」、「何軒も店を回って品物を見比べてから買う方だ」などの購買に対して慎重な意見であった。第3A因子は「他人の意見に同調することが多い」、「自分が他人にどう思われているか気になる」など他者にどのように見られているかを気にする意見であった。

第4A因子は「食費には、お金をかける方だ」、「何か特別な日には出費を惜しまない」などの特定の購買に対して出費を惜しまない意見であった。第5A因子は「お金の貸し借りをすることは気にならない」、「100円や200円程度の貸しは、催促しない」などの金銭感覚が緩い意見であった。第6A因子は「期日がせまらないと行動を起こさない」、「仕事をする以上、多少の私生活の犠牲は仕方がない」という項目から行動を起こすのに消極的な態度を

であった。第7A因子は「買い物はクレジットカードよりも現金で買う方が多い」、「可能な限り、保険は多くの種類に加入する方がよい」という項目から、金銭の支出に際して堅実な意見であった。

第1B因子は「スポーツをしたり、観戦することにお金を使う方である」、「自ら進んでリーダーになる方だ」など自己主張することに対し肯定的な意見であった。第2B因子は、「神仏を信じる」、「悩みがあると占いに頼りたくなる」など項目から、情報の信憑性の如何に問わず、情報を鵜呑みにする意見の因子負荷量が大きかった。第3B因子は「趣味を持つなら、生活に役立つものを選ぶ方だ」などの支出を可能な限り避けたい意見であった。

第4B因子は「古い友人からの借金の申し入れ

には応ずる」などの項目の因子負荷量が大きく、人間関係を重視する意見であった。第5B因子は「相手が困っているときには親身になって相談に乗る方だ」などの項目から相手の立場に立って親身的に対応する意見であった。第6B因子は「自分を売り込む人を好まない」、「自分の意見を持っているが自らは主張しない」など項目から、自ら積極的に主張はしない消極的な態度を示す項目の因子負荷量が大きい。第7B因子は「新聞やテレビの情報は信用する」「親戚や知り合いの店で買い物は避ける」などから身内よりも他人の意見を重視する傾向にある項目の因子負荷量が大きい。これらの因子から東京都民の特性が読み取れる。

図表3-3 自己の気質の因子分類

第1A因子：	見栄っ張り	第1B因子：	自己主張
第2A因子：	慎重購買	第2B因子：	同調
第3A因子：	自己抑制	第3B因子：	節約
第4A因子：	金銭感覚ルーズ	第4B因子：	人間関係
第5A因子：	一点豪華	第5B因子：	献身
第6A因子：	消極的行動	第6B因子：	従順
第7A因子：	安全確実	第7B因子：	他者重視

図表3-4 自己の気質の因子分析結果A

	因子1	因子2	因子3	因子4	因子5	因子6	因子7
流行品は人より早く持ちたい	.784	-.045	.090	.135	-.016	.087	.117
結婚式・披露宴は豪華な方がよい	.721	-.031	.020	.010	.151	.190	.093
贈り物は中身より外見を重視する	.689	.078	.146	.158	.090	-.143	.061
ブランドにはこだわる方だ	.641	.017	.075	.260	-.062	.066	-.176
買い物をするときは値切るムダ使いをする方だ	.395	.099	-.312	-.052	-.020	-.176	.258
欲しいものがあってもすぐに買わず、考えてから買う方だ	-.212	.745	.033	-.258	.021	.092	-.027
何軒も店を回って品物を見比べてから買う方だ	.113	.674	-.001	-.171	-.131	.132	.225
新製品は先に買った人の意見を聞いてから買う	.155	.672	.087	-.056	.045	-.005	-.073
預金をする場合には元金が保証されているものにする	-.206	.471	.131	.149	-.081	.249	.026
他人の意見に同調することが多い	.302	.029	.721	-.095	.050	.100	.093
自分が他人にどう思われているか気になる	.307	.149	.663	.147	-.032	-.112	-.113
本音をなかなか言わない	-.141	.177	.590	.142	.039	.081	.273
最後まで自分の意見を主張する	.236	.405	-.503	.323	.077	-.052	.026

食費には、お金をかける方だ	.160	-.181	-.057	.691	.081	.200	.052
ムダ使いをする方だ	.204	-.200	.121	.690	.054	-.132	.170
何か特別な日には出費を惜しまない	.132	.075	.067	.438	.365	.429	-.213
100円や200円程度の貸しは、催促しない	-.059	.030	.114	.037	.758	.052	.075
人におごる方だ	.216	-.033	-.131	.209	.603	.229	-.053
お金の貸し借りをすることは気にならない	.438	-.175	-.035	-.078	.477	-.168	.243
仕事には熱中する方だ	-.017	.251	.024	.055	.122	.685	.129
仕事をする以上、多少の私生活の犠牲は仕方がない	.275	.150	.185	.074	.140	.498	.071
期日がせまらないと行動を起こさない	.047	.225	.311	.346	.266	-.465	.054
買い物はクレジットカードよりも現金で買う方が多い	-.106	.132	.160	.127	.114	.076	.552
100円や200円程度の借りは、返さない	.291	-.130	-.023	.025	.215	-.396	.537
割り勘の時は必ず1円単位まで計算する	.134	.143	-.007	-.029	-.418	.062	.515
可能な限り、保険は多くの種類に加入する方がよい	.382	-.187	.012	.056	-.029	.229	.501

注. 因子抽出法：主因子法

回転法：Kaiserの正規を伴うバリマックス法

図表3-5 自己の気質の因子分析結果B

	因子1	因子2	因子3	因子4	因子5	因子6	因子7
スポーツをしたり、観戦することにお金を使う方である	.715	-.088	.022	.275	.066	.162	-.046
地域活動や自治会活動に参加する	.614	.316	.109	.079	-.013	.015	.214
みずから進んでリーダーになる方だ	.515	.089	.170	.141	.027	-.348	.247
お中元やお歳暮はご縁がある限り贈り続ける	.492	.281	.104	-.070	.230	-.043	.086
悩みがあると占いに頼りたくなる	.052	.798	.062	.026	.103	-.040	.031
神仏を信じる	.177	.574	-.109	-.186	.383	.003	.084
新聞の折り込み広告は隅から隅まで目を通す	.378	.478	.301	.171	-.159	.054	-.091
開店祝いのお花を持ち帰る	.313	.475	.183	.314	-.137	.020	.032
趣味を持つなら、生活に役立つものを選ぶ方だ	.121	.023	.701	-.138	.052	.046	.185
専門書や小説等よりも実用書をよく読む方だ	.285	.007	.660	-.051	.018	-.106	-.059
朝、喫茶店を選ぶときは、モーニングサービスの内容を重視する	-.104	.231	.600	.274	.206	.013	-.044
借金の申し入れは断る方だ	-.076	-.069	.145	-.785	.169	.116	-.145
古い友人からの借金の申し入れには応ずる	.246	-.001	.078	.755	.125	-.025	.052
相手が困っているときには親身になって相談に乗る方だ	.137	-.046	.050	-.120	.756	-.045	.144
親戚や知り合いの店に買い物に行った際には、何かひとつは買って帰る	-.082	.116	.165	.105	.673	.182	.129
芸術の鑑賞や制作にお金を使うことは惜しくない	.424	.156	-.038	.058	.533	-.069	-.360
自分を売り込む人は好まない	.082	-.210	-.104	-.261	-.023	.737	.154
自分の意見を持っているが自らは主張しない	-.063	.154	.041	.070	.144	.718	-.283
他人と同じ行動を取りがちである	.003	.419	.343	.067	-.039	.438	.079

新聞やテレビの情報は信用する	.058	.238	.332	-.004	.120	.142	.556
親戚や知り合いの店で買い物は避ける	-.058	.090	.308	-.236	-.106	.165	-.551
初対面の人とでも腹を割って話すことができる	.384	.064	.138	.102	.130	-.152	.499

注. 因子抽出法：主因子法

回転法：Kaiserの正規を伴うバリマックス法

4. 東京都民の「田舎者」意識について

1) 調査対象者の性格について

東京都民の「田舎者」意識をみる前に、本調査の対象者自身に自分の性格について尋ねてみた。8項目を提示し、それぞれについて「全くそう思う」～「全くそう思わない」の5段階評価で回答してもらった結果を肯定度（「全くそう思う」+「そう思う」）の高い順に並べたものが以下である。

競争を好まない	58.1%
ひかえめ	41.3
のんびり屋	40.4
楽天家	37.9
あくせくしない	37.5
おおらか	34.4
多趣味	26.7
お金にとらわれない	22.3

以上のことから、本調査の調査対象者は、約6割近くが「競争を好まない」性格だと回答している。また、約4割の対象者は、「ひかえめ」、「のんびり屋」と答え、「楽天家」、「あくせくしない」、「おおらか」だと答えたのは3割台であった。続いて「多趣味」26.7%、「お金にとらわれない」22.3%となった。

つぎに、この結果の階層間比較について考察する。以下では、階層間において有意な差が認められた項目（有意水準1%）を中心に記載する。

(1) 性別比較

「競争を好まない」	
「そう思う」	
女性	66.5% ←***→ 男性 49.6%
「どちらでもない」	
男性	30.8% ←***→ 女性 19.6%

「競争を好まない」のは、男性より女性のほうが多い。

(2) 年齢別比較

① 「のんびり屋」

「そう思わない」

60才以上 47.1% ←***→ 20才～29才 26.0%

② 「多趣味」

「そう思わない」

30才～39才 53.8% ←***→ 60才以上 35.6%

③ 「ひかえめ」

「そう思わない」

60才以上 31.7% ←***→ 40才～49才 16.3%

「どちらでもない」

30才～39才 43.3% ←***→ 20才～29才 24.0%

④ 「あくせくしない」

「そう思う」

60才以上 48.1% ←***→ 30才～39才 25.0%

50才～59才 45.2% ←***→ 同上

⑤ 「お金にとらわれない」

「そう思う」

60才以上 33.7% ←***→ 30才～39才 17.3%

同上 ←***→ 40才～49才 16.3%

「そう思わない」

30才～39才 45.2% ←***→ 60才以上 26.9%

40才～49才 47.1% ←***→ 同上

⑥ 「おおらか」

「そう思わない」

30才～39才 33.7% ←***→ 60才以上 13.5%

40才～49才 29.8% ←***→ 同上

「のんびり屋」ではないは、若年層より高齢層のほうが多い。「あくせくしない」、「お金にとらわれない」とするのは高齢層の方が多くなっている。また、「おおらか」ではないとするのは、60

才以上よりも30才台や40才台のほうが多い。高齢者がのんびり屋ではないとするのは、高度経済成長期の多忙な生活が習慣となっている人が多いことが考えられる。「あくせくしない」、「お金にとらわれない」、「おおらか」という回答が高齢者層に多いのは、30才台・40才台の子育て世代と比較して、時間的にも金銭的にもゆとりがあるからだ」と推測できる。

(3) 居住年数別比較

①「のんびり屋」

「そう思う」

9年以下 50.0%←***→30年以上 28.6%

10年以上29年以下 44.6%←***→ 同上

②「お金にとらわれない」

「そう思わない」

10年以上29年以下 48.2%←***→30年以上 31.9%

2) 「田舎者」という言葉のイメージについて

つぎに「田舎者」という言葉からどのようなイメージをもつか、8つの項目を提示して2つまで複数回答で答えてもらった。以下は、回答の多かった順に並べたものである。

素朴	52.7%
やぼったい (あかぬけていない)	44.8
古いしきたりにこだわる	23.5
純情	21.3
ものを知らない	11.0
礼儀作法をわきまえない	7.9
気が利かない	7.1
ものわかりが悪い	4.4

以上の結果から、「田舎者」という言葉からは「素朴」、「やぼったい」というイメージを抱くという回答が他の項目と比較すると多かった。

階層間比較でみると、以下のような有意な差が認められた。

(1) 性別比較

①「やぼったい」

女性 50.4%←*→男性 39.2%

②「純情」

男性 25.0%←*→女性 17.7%

「田舎者」という言葉について、男性より女性の方が「やぼったい」というイメージを抱く傾向が強く、「純情」というイメージは女性より男性の方が強いようである。

(2) 年齢別比較

①「古いしきたりにこだわる」

40才～49才 31.7%←***→50才～59才 16.3%

②「気が利かない」

60才以上 16.3%←***→30才～39才 1.0%

同上 ←***→40才～49才 2.9%

③「素朴」

30才～39才 60.6%←***→20才～29才 37.5%

60才以上 58.7%←***→ 同上

年齢別でみると、40才台が50才台よりも「田舎者」は「古いしきたりにこだわる」というイメージをもっている。「気が利かない」というイメージは、60才以上の高齢者層に多く、「素朴」というイメージは、若年層には弱い傾向にある。

(3) 居住年数別比較

「古いしきたりにこだわる」

9年以下 28.8%←***→30年以上 11.8%

居住年数別で比較すると、「古いしきたりにこだわる」というイメージは、居住年数が少ないほうが強い。

3) 東京都民と「田舎者」

先の質問で「田舎者」のイメージを明確にしておき、さらに同一の回答選択肢を用いて、東京都民のイメージ（東京都民は田舎者）について投影法で尋ねたところ、以下のような結果となった（2つまで複数回答）。

いずれも当てはまらない	52.5%
礼儀作法をわきまえない	23.7
気が利かない	20.0
ものわかりが悪い	8.1
ものを知らない	6.9
古いしきたりにこだわる	6.0
素朴	3.7
純情	2.1

やぼったい（あかぬけていない） 1.9

この結果においては、「東京都民は田舎者」と言われることに対して、「いずれも当てはまらない」と回答した人が最も多かった。つぎに「礼儀作法をわきまえない」、「気が利かない」が続き、その他の項目は1割に満たない。

階層間比較をみると、性別と居住年数別で有意な差が認められた。

(1) 性別比較

「いずれも当てはまらない」

女性 59.6% ← ** → 男性 45.4%

(2) 居住年数別比較

「ものわかりが悪い」

9年以下 13.8% ← ** → 10年以上29年以下 2.9%

以上の結果から、東京都民の半数は、「東京都民は田舎者」だと思っておらず、女性のほうが男性よりもその傾向にある。田舎者のイメージとしての「ものわかりが悪い」については、居住年数が少ないほうが「ものわかりが悪い」という傾向が強いようである。

4) 自分自身を「田舎者」だと思うか

この質問の流れの中で、自分自身を田舎者と思うか問うてみたところ、以下ようになった。

「全くそう思う」	3.3%
「そう思う」	26.0
「そうは思わない」	41.5
「全くそうは思わない」	22.7
「わからない」	6.5
合計	100.0

この結果からそれぞれを合計すると、肯定派（「まったくそう思う」+「そう思う」）29.3%、否定派（「そうは思わない」+「全くそうは思わない」）64.2%となり、否定派が6割以上になった。

つぎにこの結果を各階層間で比較したところ、以下のような有意な差が認められた。

(1) 性別比較

「わからない」

男性 8.8% ← * → 女性 4.2%

(2) 年齢別比較

「そう思う」

30才～39才 36.5% ← ** → 50才～59才 16.3%

同上 ← ** → 60才以上 18.3%

年齢別でみると、30才台が50才以上の人と比較して「田舎者」だと思っている人が多い。

(3) 居住年数別比較

「そう思う」

9年以下 43.8% ← ** → 30年以上 21.8%

10年以上29年以下 36.7% ← ** → 同上

居住年数別で比較すると、年数が少ないほうが多い人よりも「田舎者」だと回答する傾向にある。

5. 東京都民の買い物スタイル

1) 日頃の買い物スタイルに関する意見

日頃の買い物スタイルについて、12項目をあげて5段階評価で尋ねた。回答の賛成「全くその通り」+「その通り」の数値が大きい順に並べた結果、最も高かったのは、「実用性とか使いやすさを特に重視して買う」（63.7%）、つぎに「買うのは必要最低限にとどめておく」（53.8%）、「できるだけ多くのものを比較したうえで買うものを決める」（50.6%）、「どの店で買えば得かに行く前によく調べてみる」（45.4%）、となった。

次に、因子分析を行った結果、4つの因子に分かれた。第1因子と相関の高い4つの質問から、因子名として流行追随因子と名付けた。第2因子と相関の高い4つの質問から、因子名として価格追求因子と名付けた。第3因子と相関の高い2つの質問から、因子名として購買慎重因子と名付けた。第4因子と相関の高い2つの質問から、因子名として情緒重視因子と名付けた。4つの因子から東京都民の日常生活での買い物スタイルについてどのような意見や感想を抱くのかを読み取れる。

2) 日頃の買い物スタイルに関する階層間分析

日頃の買い物スタイルに関するいろいろな意見について、階層間における有意差の有無の観点から考察する。以下では有意な差が認められた項目（有意水準1%）を中心に記載する。

- (1) 性別 敏感であり、かつできる限り安価に購買しようとする傾向が読み取れる。
- ①「買うときにはよくバーゲンを利用する」 「その通り」
 女性 41.5% ← * * → 男性 29.2%
- (2) 年齢別
- ②「流行中のものを買う」 「その通り」
 20才～29才 26.0% ← * * → 50才～59才 1.9%
 同上 ← * * → 60才以上 8.7%
 30才～39才 16.3% ← * * → 50才～59才 1.9%
- ②「見た感じとか美しさを特に重視して買う」 「その通り」
 女性 43.1% ← * * → 男性 31.2%
- 日頃の買い物スタイルについて性別特性から見たところ、男性よりも女性の方が見た目や流行に

図表5-1 日頃の買い物スタイル

(%)

	全くその通り+その通り
実用性とか使いやすさを特に重視して買う	63.7
買うのは必要最低限にとどめておく	53.8
できるだけ多くのものを比較したうえで買うものを決める	50.6
どの店で買えば得かに行く前によく調べてみる	45.4
見た感じとか美しさを特に重視して買う	37.1
買うときにはよくバーゲンを利用する	35.4
とにかく安くて経済的なものを買う	35.2
店のムードや情緒を特に重視して買う	24.4
流行中のものを買う	13.0
買うときにはよく広告しているブランドを買う	11.2
買うときには店員がすすめるものにする	9.6
新しいものが出たときは人よりもはやく買う	7.5

図表5-2 日常生活での買い物スタイルに関する意見の因子分析結果

	流行追随	価格追求	購買慎重	情緒重視
買うときにはよく広告しているブランドを買う	.840	.009	.035	.101
買うときには店員がすすめるものにする	.825	-.045	.141	-.018
流行中のものを買う	.613	.339	-.256	.317
新しいものが出たときは人よりもはやく買う	.602	.233	-.319	.268
どの店で買えば得かに行く前によく調べてみる	-.033	.778	.168	.202
買うときにはよくバーゲンを利用する	.202	.668	-.029	-.022
できるだけ多くのものを比較したうえで買うものを決める	-.119	.607	.476	.138
とにかく安くて経済的なものを買う	.170	.518	.336	-.356
買うのは必要最低限にとどめておく	-.018	.111	.815	.009
実用性とか使いやすさを特に重視して買う	-.006	.144	.774	.048
見た感じとか美しさを特に重視して買う	.060	-.025	.049	.807
店のムードや情緒を特に重視して買う	.289	.173	.056	.731

注1. 因子抽出方法：主因子法
 回転法：Kaiserの正規化を伴うバリマックス法

同上	←***→60才以上	8.7%
40才～49才	12.5%←***→50才～59才	1.9%
同上	←***→60才以上	8.7%
「違う」		
60才以上	68.3%←***→20才～29才	47.1%
同上	←***→30才～39才	49.0%
③「買うときには店員のすすめるものにする」		
「その通り」		
20才～29才	18.3%←***→50才～59才	4.8%
④「買うときにはよく広告しているブランドを買う」		
「その通り」		
20才～29才	20.2%←***→40才～49才	6.7%
同上	←***→50才～59才	7.7%
「違う」		
30才～39才	59.6%←***→60才以上	39.4%
⑤「見た感じとか美しさを特に重視して買う」		
「その通り」		
20才～29才	48.1%←***→50才～59才	28.8%
同上	←***→60才以上	29.8%
30才～39才	46.2%←***→50才～59才	28.8%
⑥「できるだけ多くのものを比較したうえで買う ものを決める」		
「違う」		
30才～39才	20.2%←***→50才～59才	6.7%
⑦「新しいものが出たときは人よりもはやく買う」		
「その通り」		
20才～29才	14.4%←***→60才以上	3.8%
「違う」		
60才以上	71.2%←***→20才～29才	50.0%
⑧「とにかく安くで経済的なものを買う」		
「その通り」		
20才～29才	43.3%←***→60才以上	24.0%

日頃の買い物スタイルについて年齢別特性からみたところ、全般的には20才台と60才以上の間に有意差が認められた項目が多く、20才台は買い物に対してより積極的な態度を示す一方で安くで経済的なものを買うという意見がその他の年台よりも多く、将来の経済的な不安を抱えていることが推察される。

「できるだけ多くのものを比較したうえで買う

ものを決める」の項目では、30才台と50才台の間に有意差が認められた。30才台は小さい子供がいる世帯が多いと想定でき、購買のために手間をかけて情報収集することが困難ではないかと推察される。

(3) 居住年数別

①「流行中のものを買う」

「その通り」

～9年 20.0%←***→30年～ 5.0%

②「買うときにはよく広告しているブランドを買う」

「違う」

～9年 57.5%←***→30年～ 38.7%

③「見た感じとか美しさを特に重視して買う」

「その通り」

～9年 55.0%←***→30年～ 28.6%

日頃の買い物スタイルについて居住年数別特性からみたところ、全般的には居住年数が9年までと居住年数が30年以上との間に有意差が認められた項目が多い。傾向としては居住年数が長くなるほど購買に対して保守的になることが窺える。

おわりに

今回は、東京都民の意識について調査結果をまとめてみた。

本研究は、現代の名古屋人気質と購買行動の特徴を導き出すことを目的に、第1回の名古屋人（愛知県民）への調査、2回目の大阪府民への調査、そして今回調査と3つの調査を継続して行った。

今回はこれら3つの調査結果の比較から、名古屋人（愛知県民）の意識とそれに伴う購買行動の特徴を考察したい。

最後に、本調査研究の一部は日本広告学会中部部会の助成を受けていることを記しておく。

『東京人気質に関する意識調査』

(平成31年2月調査実施)

調査主体：

愛知学院大学流通科学研究所
市場調査研究会

Q 1. お宅で購読している新聞名をお知らせ下さい。(複数回答)

1. 朝日新聞	13.1	2. 毎日新聞	2.7	3. 読売新聞	18.7	4. 日経新聞	8.7
5. 産経新聞	2.7	6. 東京新聞	2.5	7. その他	0.8	8. 購読していない	57.5

Q 2. その新聞は、いつ頃から購読しておられますか。

朝日新聞	1年以内	13.2	1年以上前から	4.4	3年以上前から	10.3	5年以上前から	7.4
	10年以上前から	64.7						
毎日新聞	1年以内	28.6	1年以上前から	21.4	3年以上前から	7.1	5年以上前から	0.0
	10年以上前から	42.9						
読売新聞	1年以内	7.2	1年以上前から	2.1	3年以上前から	4.1	5年以上前から	10.3
	10年以上前から	76.3						
産経新聞	1年以内	7.1	1年以上前から	21.4	3年以上前から	7.1	5年以上前から	21.4
	10年以上前から	42.9						
東京新聞	1年以内	7.7	1年以上前から	30.8	3年以上前から	15.4	5年以上前から	7.7
	10年以上前から	38.5						

Q 3. あなたの居住歴について当てはまるものをお答えください。

1. 生まれてから今日まで東京に住んでいる。	35.0
2. 東京に住んでいるが、都外に住んだことがある。	65.0

Q 4. 東京都外に住んだことがあるとお答えの方にお伺いします。東京に合計何年住んでいますか。
(平均23.8年)

Q 5. 家の所有形態について、あなたのご意見をお知らせ下さい。

1. 絶対持ち家がよい	25.4	2. 持ち家がよい	38.3	3. 借家がよい	7.1
4. どちらでもよい	29.2				

Q 6. 今住んでいる町や村に、このまま住み続けたいですか。

1. この町や村に住み続けたい	50.0	2. 転居したい	10.6
3. 成り行き次第でわからない	39.4		

Q 7. 東京の人の気質についてのいろいろな意見を下記に列記しました。それぞれについて、あなたの考えに最も近いものをお選びください。

	全くそう思う	そう思う	どちらでもない	そう思わない	全くそう思わない	わからない
1. 東京の人は「安物買いの銭失い」である。	0.8	4.8	25.8	37.9	17.5	13.3
2. 東京の人は大金を投じるような賭け事はしない。	1.0	6.5	33.7	32.7	11.2	15.0
3. 東京の人は何か特別な日に出費を惜しまない。	3.3	30.2	34.8	13.7	6.7	11.3
4. 東京の人は持ち家志向が強い方だ。	2.3	12.1	32.5	30.6	11.5	11.0
5. 東京の人は目立ちたがり屋が多い。	4.6	16.7	32.3	28.8	9.0	8.5
6. 東京の人は大阪の人に劣等感を持っている。	1.3	2.9	13.7	30.4	41.9	9.8
7. 東京の人は名古屋の人に劣等感を持っている。	0.8	1.9	13.5	28.1	45.8	10.0
8. 東京の人は東京に対して不満を持っている。	1.9	18.3	32.3	23.7	13.7	10.2
9. 東京の人は国や都の決めた事には反対しない。	1.2	9.2	32.7	32.3	16.0	8.7
10. 東京の人はよそ者（東京の人以外の人）と親しくなるのに時間がかかる。	3.1	12.1	32.1	30.0	15.2	7.5
11. 東京の人はよそ者よりも東京の人同志の方が心が許せる。	2.5	12.3	35.6	25.2	13.8	10.6
12. 東京の人は人前で自分の本心を表面に出さない。	2.9	26.3	34.6	20.4	7.9	7.9
13. 東京の人同志の結束は固いと思う。	1.5	7.3	33.7	29.6	17.9	10.0
14. 東京の人は古いしきたりにこだわる。	1.3	7.1	30.4	30.6	21.5	9.0
15. 東京の人は相手の出身地をすぐに尋ねることが多い。	4.6	18.1	28.8	26.2	13.8	8.5
16. 東京の人は値段が高くても品質が良ければ購入する。	9.0	30.4	35.4	11.0	5.6	8.7
17. 東京の人はお茶やお花を習ったり、芸術を鑑賞したりする人が多い。	3.5	20.0	38.3	18.5	9.4	10.4
18. 東京の人は生活に十分なゆとりがなくても芸術・スポーツ・趣味などに関心が高い。	3.7	23.8	36.3	17.1	7.7	11.3
19. 東京の人は贈り物をするときに、デパートをよく利用する。	9.0	32.3	31.0	13.5	7.1	7.1

Q 8. 次に、あなたご自身の気質についてお伺いいたします。いろいろな気質を下記に列記しました。それぞれについて、最も近いものをお選びください。

	全くその通り	ほぼその通り	どちらでもない	やや違う	全く違う
1. 食費には、お金をかける方だ。	7.3	29.6	31.3	21.2	10.6
2. ムダ使いをする方だ。	4.8	20.8	29.6	25.6	19.2
3. 100円や200円程度の借りは、返さない。	1.5	5.0	15.0	22.7	55.8
4. 100円や200円程度の貸しは、催促しない。	16.0	31.0	26.9	13.5	12.7
5. 買い物をする時は値切る。	1.0	7.3	23.5	26.0	42.3
6. 割り勘の時は必ず1円単位まで計算する。	3.1	9.8	22.9	28.1	36.2
7. 人におごる方だ。	5.4	21.5	44.0	18.1	11.0
8. 何か特別な日には出費を惜しまない。	15.4	36.5	31.5	11.0	5.6
9. 可能な限り、保険は多くの種類に加入する方がよい。	1.2	6.0	35.6	29.8	27.5
10. 買い物はクレジットカードよりも現金で買う方が多い。	12.7	19.0	25.6	23.7	19.0
11. お金の貸し借りをすることは気にならない。	2.3	6.2	19.0	28.8	43.7
12. 預金をする場合には元金が保証されているものにする。	20.6	26.3	38.1	9.4	5.6
13. 欲しい物があってもすぐには買わず、考えてから買う方だ。	20.8	40.8	27.1	8.8	2.5
14. 新製品は先買った人の意見を聞いてから買う。	6.0	33.7	40.0	14.8	5.6
15. 何軒も店を回って品物を見比べてから買う方だ。	7.9	32.1	34.2	18.7	7.1
16. 仕事には熱中する方だ。	13.7	35.0	33.8	12.7	4.8
17. 期日がせまらないと行動を起こさない。	8.1	27.9	33.8	20.6	9.6
18. 仕事をする以上、多少の私生活の犠牲は仕方がない。	4.4	29.2	38.8	17.5	10.0
19. 結婚式・披露宴は豪華な方がいい。	2.9	7.1	31.7	28.3	30.0
20. 流行品は人より早く持ちたい。	2.5	7.9	26.5	29.8	33.3
21. 贈り物は中味より外見を重視する。	2.3	10.6	36.0	30.8	20.4
22. ブランドにはこだわる方だ。	4.8	16.2	29.2	25.0	24.8
23. 他人の意見に同調することが多い。	2.7	20.8	45.6	19.0	11.9
24. 最後まで自分の意見を主張する。	3.5	17.3	49.8	22.1	7.3
25. 自分が他人にどう思われているか気になる。	8.8	26.3	37.5	18.5	8.8
26. 本音をなかなか言わない。	8.1	32.1	38.7	15.4	5.8

Q 9. 引き続き、あなたご自身の気質についてお伺いいたします。いろいろな気質を下記に列記しました。それぞれについて、最も近いものをお選びください。

	全くその通り	ほぼその通り	どちらでもない	やや違う	全く違う
1. 自分の意見を持っているが自らは主張しない。	5.6	34.0	36.0	19.0	5.4
2. 自分を売り込む人は好まない。	11.2	35.8	39.6	11.5	1.9
3. みずから進んでリーダーになる方だ。	1.7	9.2	27.5	33.7	27.9
4. 他人と同じ行動を取りがちである。	0.8	18.7	42.3	25.6	12.7
5. 親戚や知り合いの店に買い物に行った際には、何かひとつは買って帰る。	6.5	34.0	39.0	12.7	7.7
6. 親戚や知り合いの店で買い物は避ける。	8.5	17.3	50.8	16.5	6.9
7. 地域活動や自治会活動に参加する。	0.4	11.2	30.4	26.7	31.3
8. 借金の申し入れは断る方だ。	34.4	33.3	25.0	4.2	3.1
9. しかし、古い友人からの借金の申し入れには応ずる。	2.3	9.4	31.0	24.0	33.3
10. お中元やお歳暮はご縁がある限り贈り続ける。	6.2	19.8	32.3	18.7	23.1
11. 相手が困っているときには親身になって相談に乗る方だ。	11.2	44.6	35.4	6.2	2.7
12. 神仏を信じる。	7.7	19.4	37.7	17.5	17.7
13. 悩みがあると占いに頼りたくなる。	1.5	12.7	26.2	23.3	36.3
14. 新聞やテレビの情報は信用する。	1.7	23.7	44.6	16.3	13.7
15. 初対面の人とでも腹を割って話すことができる。	3.3	10.8	39.6	27.7	18.7
16. 開店祝いの花を持ち帰る。	1.7	4.6	28.3	23.8	41.5
17. 新聞の折り込み広告は隅から隅まで目を通す。	1.2	7.9	29.4	24.6	36.9
18. 趣味を持つなら、生活に役立つものを選ぶ方だ。	3.1	25.6	40.6	18.8	11.9
19. 専門書や小説等よりも実用書をよく読む方だ。	2.5	15.4	38.1	26.0	18.1
20. 朝、喫茶店を選ぶときは、モーニングサービスの内容を重視する。	3.1	18.8	38.3	19.8	20.0
21. 芸術の鑑賞や制作にお金を使うことは惜しくない。	7.1	20.4	37.5	19.8	15.2
22. スポーツをしたり、観戦することにお金を使う方である。	4.8	14.6	29.8	23.1	27.7

Q10. あなたの性格について、次の各項目の該当するものをお選びください。

	全く そう 思う	そう 思う	ど ち ら だ も な い	そ う 思 わ な い	全 く そ う 思 わ な い
1. のんびり屋	7.7	32.7	23.3	25.8	10.6
2. 競争を好まない	17.1	41.0	25.2	12.3	4.4
3. 多趣味	5.6	21.2	29.6	28.8	14.8
3. ひかえめ	7.5	33.8	33.1	19.4	6.2
4. あくせくしない	4.8	32.7	40.0	17.1	5.4
5. 楽道家	7.9	30.0	32.1	20.2	9.8
6. お金にとらわれない	3.1	19.2	37.5	28.3	11.9
6. おおらか	5.6	28.8	40.6	20.2	4.8

Q11. 「田舎者」という言葉から、あなたがイメージするものは次のうちどれですか。2つまでお選びください。

※2つ以上該当するものがある場合は、上位2つをお選びください。

1. やぼったい（あかぬけていない）	44.8	2. 古いしきたりにこだわる	23.5	3. 気が利かない	7.1
4. 礼儀作法をわきまえない	7.9	5. ものわかりが悪い	4.4	6. 純情	21.3
7. 素朴	52.7	8. ものを知らない	11.0	9. その他	1.9

Q12. では、東京の人は次のうちどれに該当すると思いますか。2つまでお選びください。

※2つ以上該当するものがある場合は、上位2つをお選びください。

1. やぼったい（あかぬけていない）	1.9	2. 古いしきたりにこだわる	6.0	3. 気が利かない	20.0
4. 礼儀作法をわきまえない	23.7	5. ものわかりが悪い	8.1	6. 純情	2.1
7. 素朴	3.7	8. ものを知らない	6.9		
9. いずれにも当てはまらない	52.5				

Q13. あなた自身は「田舎者」だと思いますか。

1. 全くそう思う	3.3	2. そう思う	26.0	3. そうは思わない	41.5
4. 全くそうは思わない	22.7	5. 分からない	6.5		

Q14. あなたが買い物される際の態度についてお伺いします。

次のいろいろな場面について、あなたの考えに最も近いものをお選びください。

	全くその通り	ほぼその通り	どちらでもない	違う	全く違う
1. 買うときにはよくバーゲンを利用する。	6.0	29.4	38.1	15.8	10.8
2. 流行中のものを買う。	1.5	11.5	31.2	33.1	22.7
3. どの店で買えば得かに行く前によく調べてみる。	9.8	35.6	31.0	16.5	7.1
4. 店のムードや情緒を特に重視して買う。	2.9	21.5	41.0	22.9	11.7
5. 買うのは必要最低限にとどめておく。	11.3	42.5	31.9	10.6	3.7
6. 買うときには店員がすすめるものにする。	0.6	9.0	42.7	31.2	16.5
7. 買うときにはよく広告しているブランドを買う。	0.8	10.4	39.4	31.3	18.1
8. 実用性とか使いやすさを特に重視して買う。	13.5	50.2	28.1	5.4	2.9
9. 見た感じとか美しさを特に重視して買う。	5.4	31.7	44.2	14.4	4.2
10. できるだけ多くのものを比較したうえで買うものを決める。	10.0	40.6	37.3	8.5	3.7
11. 新しいものが出たときは人よりもはやく買う。	1.3	6.2	30.0	34.6	27.9
12. とにかく安くで経済的なものを買う。	9.4	25.8	36.5	18.5	9.8